

(7) 北 陸



北陸地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ 鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。
- ・ 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

前回からの主要変更点

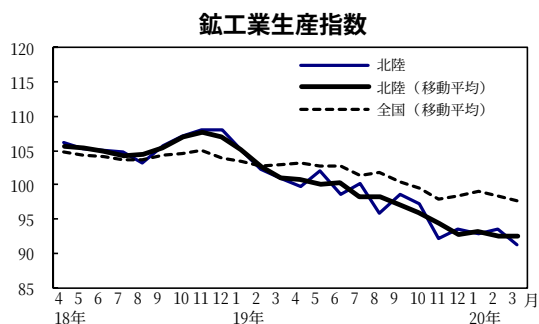
	前回（令和2年3月）	今回（令和2年5月）	
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある	↓
鉱工業生産	一段と弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している	↓
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している	↓
雇用情勢	改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。

1－3月期には、電子部品・デバイスは、電子部品が増加したことにより、増加した。化学は、無機化学工業製品が増加したことにより、増加した。生産用機械は、金属加工機械が減少したことにより、減少した。金属製品は、建築用金属製品が減少したことにより、減少した。繊維は、減少した。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北陸の最新月は速報値。
2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

	付加価値 ウェイト	生産				
		10－12 月期	1－3 月期	1月	2月	3月
電子部品・デバイス	15.3	▲2.9	8.8	3.6	11.9	▲0.9
化学	14.0	▲4.4	1.0	4.1	7.4	▲3.0
生産用機械	11.8	▲1.3	▲7.7	▲9.6	▲0.3	0.2
金属製品	8.1	▲4.0	▲6.8	▲4.9	2.5	6.8
繊維	6.9	▲2.6	▲2.4	1.4	▲1.9	▲3.5
鉱工業	100.0	▲4.0	▲1.9	▲0.7	0.8	▲2.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 1－3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

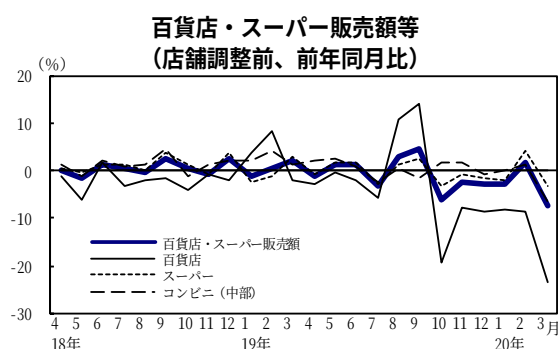
1月は前月比0.9%減、2月は同1.7%減、3月は同6.9%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。2月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。3月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。

スーパーは、1－3月期は、衣料品が減少したことにより、前年を下回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。



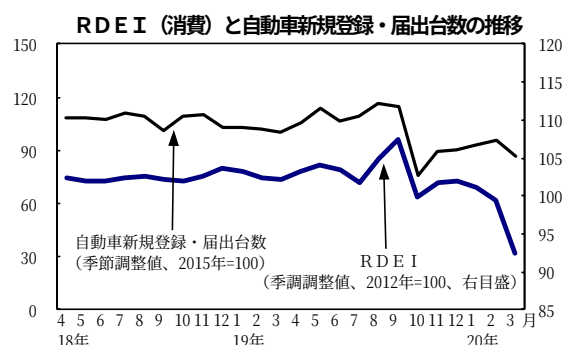
	2020年1-3月	2020年1月	2月	3月
RDEI（消費*1）	▲3.4	▲0.9	▲1.7	▲6.9
百貨店・スーパー(*2)	▲3.1	▲3.0	1.6	▲7.4
百貨店(*2)	▲13.8	▲8.2	▲8.8	▲23.6
スーパー(*2)	▲0.5	▲1.8	4.0	▲3.2
コンビニ(*2)	▲1.9	▲0.1	1.4	▲6.6
乗用車(*3)	▲10.4	▲9.4	▲8.0	▲12.3
(季節調整値)(*3)	7.9	2.6	3.3	▲9.5

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

コンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

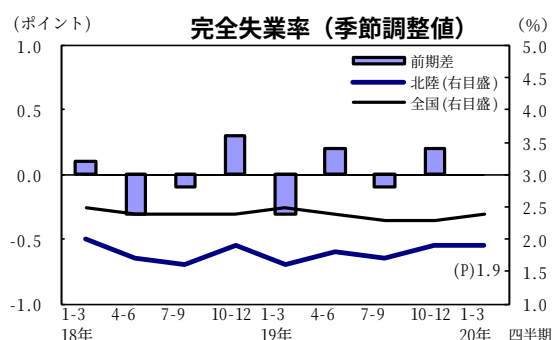
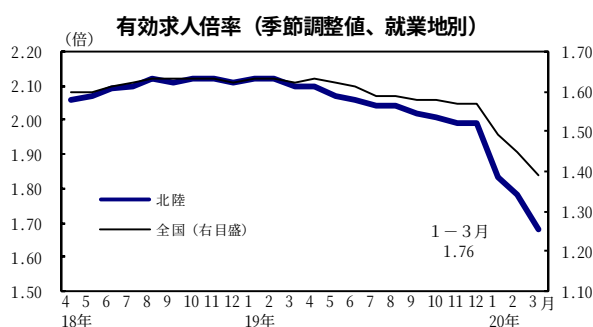
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査（令和2年4月調査）景気判断理由の概要

7. 北陸

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

	分野	判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連	×	・3月の3連休以降は人通りが激減している。4月7日の緊急事態宣言を受けて店頭販売を休業している。新型コロナウイルスの影響で、年間を通じて一番の稼ぎどきであった花見からゴールデンウィークを休業せざるを得ない状況になったことは、経営にとって致命的な出来事であると考え（商店街）。
		○	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため営業時間を短縮しているが、必要な品を購入しておきたい客が多く来店している（家電量販店）。
		□	—
		▲	・新型コロナウイルスの影響により、営業活動が思うようにはできず、厳しい状況が続いている（乗用車販売店）。
	企業 動向 関連	×	・新型コロナウイルスの影響で、欧米や国内での受注が止まっている（一般機械器具製造業）。
		▲	・官庁や金融機関でも勤務者を減らしており、案件の完了に時間が掛かっている。仕事としては融資を受けるために必要な定款や議事録などの作成依頼が多い（司法書士）。
		□	・受注状況については変わらず推移している（化学工業）。
雇用 関連	×	・新型コロナウイルスの影響により、多くの企業が休業を実施したり計画したりしている（職業安定所）。	
	▲	・生産調整に入った機械製造メーカーが一時帰休を打ち出したことで、この先の失業につながらないかと危惧している（民間職業紹介機関）。	
その他の特徴 コメント		○：新型コロナウイルスの影響で、来客数は減っているものの買上点数が増えている（スーパー）。 ×：委託している売場やショップの運営が継続不可能になったり、取引先からの販売員や商品の供給が困難になったり、売場運営そのものが形にならなくなってきている（百貨店）。	
	分野	判断	判断の理由
先行き	家計 動向 関連	×	・この状況が終息に向かわない限り販売数は増えない（通信会社）。
		□	・人と人とのつながりが分断されており、当社の営業手法は通用しなくなっている。新型コロナウイルスの終息を待って営業できるのか、今は新しい営業手法を試しながら地道な活動を続けるしかない（住宅販売会社）。
	企業 動向 関連	×	・建設業界は、新型コロナウイルスの影響で非常にダメージを受けている。土木工事業についてはそれほどでもないが、発注の手控えなどがあり、景気が悪くなると考える（建設業）。
		▲	・新型コロナウイルスの影響が更に深刻化し、財布のひもがどんどん固くなるのではないかと考える（食料品製造業）。
	雇用 関連	×	・景気の見通しが全く立たない（求人情報誌製作会社）。
その他の特徴 コメント		□：新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか分からず、いつ営業が再開できるか分からない（一般レストラン）。 ×：このような状態が続くと、5～6月は更に厳しい状況になると考える。今年の後半については、皆目先がみえない状況である（繊維工業）。	

(D I)

現状・先行き判断D I（北陸）の推移（季節調整値）

